



空のしたで思い繋ぐ～流れる劇場～

Metamorphosis of theater under the timeless sky

人文科学系／建築デザイン／ドローイング、模型
ホワイトウッド、石膏、スチレンボード、ボール紙

建築デザインコース

桑原 慎也

Kuwahara Shinya

地域に根ざした小さな演劇拠点こそが文化を育む土壌なのではないか、と考えた。

そして、時間とともに集う人や人の暮らしは変化していく。

それに伴って、脈々と受け継がれる演劇の「物語」と時間を超えて変化し続ける劇場の「かたち」をデザインする。

Concept

都市と対立し郊外にやってきた人々が、演劇を通して癒され、他者や自然との繋がりを再確認することで和解していく。
 排他的なニュースを耳にすることが多い世の中だからこそ和解の物語を描きたかった。
 はじめ丘や木の下のような特徴的な場所に目的を持った人々が集まり、彼らを包み込むように建築ができていった、というルイス・カーンの言葉から着想を得て、はじめ草原に集まった演劇人たちを包み込むような演劇空間の成長と衰退までを考え、時間の流れの中での五つのシーンをデザインした。

Sketch



<p>第一章 都市で心を患った人々の治療のための場所として公園の芝生で演劇が行われる</p> <p>リーダーを中心として、小さな演劇活動が始まる</p>	<p>第二章 簡易的な舞台が作られる</p> <p>しだいに集団の人数が増え活動が大きくなり始める芝居のための掘立小屋が建てられる</p>	<p>第三章 周辺住民が観客としてやってくるようになる都市からも観客がやってくる</p> <p>大規模な舞台が必要になる</p>	<p>第四章 空の下で演劇をしていた初期の頃に立ち返り、また観客や役者の一体感を強めるために円形の野外劇場が建てられる</p> <p>活動はますます大きくなっていきやがてリーダーが死ぬ</p>	<p>第五章 リーダーがいなくなったことで集団の求心力がなくなる活動はしだいに小さくなっていきやがて劇場は廃墟になる</p> <p>廃墟になった劇場に新しいヒトがやってくる</p>
---	--	---	---	---

